

整理番号	HT28065	分野	生物	(キーワード)ウニ、発生、免疫
------	---------	----	----	-----------------

埼玉大学

ウニはどのように発生し、侵入する細菌から身を守るのでしょうか？

先生(代表者)	日比野 拓 (ひびの たく) 教育学部・准教授				
自己紹介	ウニの仲間のバフンウニやタコノマクラを使って、発生や免疫について研究をしています。また免疫に関するカードゲーム教材の開発も行っています。海に行って実験に使うウニを採集する合間に、珍しい海の動物を見つけるのが楽しいですね。				
開催日時・主な募集対象	平成28年7月24日(日)	(対象)	中学生	(人数)	30名
集合場所・時間	埼玉大学教育学部 G 棟 109 号室		(集合時間)	9:40	
開催会場	埼玉大学教育学部 G 棟 109 号室 住所：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 アクセスマップ： http://www.saitama-u.ac.jp/access/				
内 容					
<p>生命のはじまり・・・それは卵と精子が受精することです。 受精の瞬間を容易に観察できる動物は、海にいるとげとげのウニです。ムラサキウニの受精の瞬間を、1人1台顕微鏡を使って観察してみましょう。</p> <p>他にも、食作用って聞いたことがありますか？体の中に侵入してきた細菌を細胞が食べて排除してしまうことです。実はこれ、ウニやヒトデの幼生を使った実験で、初めて発見されたのです。ウニ幼生の体内の食作用と一緒に観察してみましょう。</p> <p>最後に、免疫カードゲームで免疫のしくみを理解しましょう。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:40-10:00 受付(教育学部 G 棟 109 号室集合)				筆記用具、ノート	
10:00-10:20 開講式(あいさつ、プレゼン、科研費の説明)				上着(冷房に備えて)	
10:20-10:40 講義①「ウニの発生～卵から成体になるまで～」				昼食、飲み物	
10:50-12:00 実験①「ウニから卵と精子を取り出し受精させよう」					
12:00-13:00 昼食					
13:00-13:20 講義②「ウニの免疫～食作用の発見～」				特 記 事 項	
13:30-14:50 実験②「ウニの卵割や食作用を見てみよう」				家族や学校関係者の見学申込みも可能です。	
14:50-15:10 クッキータイム					
15:10-15:30 講義③「ぼくらの体の免疫のしくみ」					
15:40-16:40 実習①「免疫ゲームで免疫のしくみを理解しよう」					
16:40-17:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)					
17:00 免疫ゲームの配布、終了・解散					

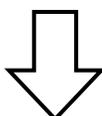
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	埼玉大学教育学部自然科学講座・日比野拓(ひびのたく)
住所：	〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
TEL 番号：	048-858-3215
FAX 番号：	048-858-3215
E-mail：	hibino@mail.saitama-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年 7月8日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
日比野 拓	H20-21	若手研究(スタートアップ)	20870007	棘皮動物ゲノムにおける Toll-like receptor 多重遺伝子族の分子進化
日比野 拓	H22-23	若手研究(B)	22770232	自然免疫における祖先型TIRドメインをもつシグナル分子の機能と分子進化の解析
日比野 拓	H26-28	基盤研究(C)	26350225	免疫にかかわる細胞や分子への理解を促す学習教材の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。